



先端科学研修 I

(数理コミュニケーションコース夏季研修)

令和元年8月8・9日、数理コミュニケーションコース1年生対象の先端科学研修を実施しました。高校入学後初めてのSSH研修です。生徒はこの研修に向けて事前に学習して内容をまとめ、当日は研究者の講義や研究施設の見学をとおして深めていく研修です。

山口大学理学部研修

山口大学理学部大学院創成科学研究科

教授 白石 清 先生

山口大学理学部の各研究室等で使用されている様々な分析・測定機器を見学し、分析や測定の仕組みや実際の研究事例を説明していただきました。

また、研修前に大学院生から指定されたキーワードについて事前学習した内容を発表した後、大学院生による講評と解説をしていただき、理学研究に対する理解を深めることができました。



健康科学の研究と研究者への道

山口大学教育学部家政教育 准教授 森永 八江 先生

森永八江先生は本校第12期の卒業生です。先生の高校時代のエピソードや進路選択のきっかけ、大学・大学院生活について、そしてそれらの様々な経験や思いが今の研究生生活の礎になっていることなどを熱く語っていただきました。また、先生の研究内容である食と健康について分かりやすく講義していただき、生徒は進路選択の参考にすることができました。



電波で見た宇宙の姿

山口大学理学部時間学研究所 教授 藤澤 健太 先生

電磁波の基礎知識や宇宙物理学の概要を講義していただいた後、32m電波望遠鏡を見学しました。当日はブラックホールの観察が行われていた研究施設の説明をしていただきました。また、KDDIパラボラ館の見学では、通信技術に関する知識を深めることができました。

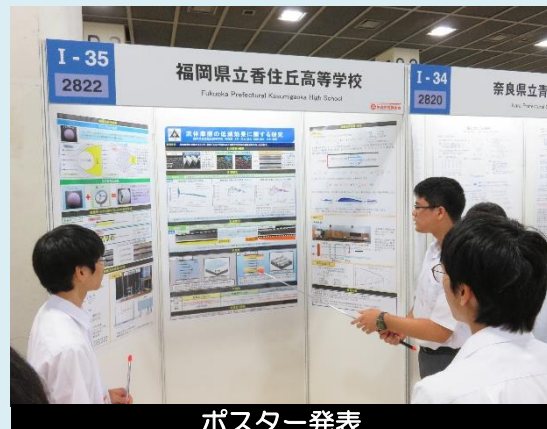


令和元年度

SSH生徒研究発表会

令和元年8月6日(火)～9日(木)、神戸国際展示場(神戸市)でSSH生徒研究発表会が開催され、国内からSSH指定校及び過去に指定経験のある学校218校と海外招聘校23校が研究発表を行いました。

本校からは、6月7日(金)の校内代表選考会で選出された物理部・流体班が出場し、ポスター発表を行いました。代表校6校の選考には漏れましたが、他校生徒との交流で新しい課題を見つけることができました。



ポスター発表

また、基調講演では「周期表誕生150年 メンデレーエフの努力と才能」と題して、京都薬科大学名誉教授 桜井 弘 先生の講演が行われました。元素の周期表が発案されるまでの歴史的過程は大変興味深い内容で、多くの高校生から質問が出され会場は大いに盛り上がりました。



令和元年度 第1回

「SS科学探究」中学生体験講座

令和元年8月20日(火)、近隣地域の中学生を対象に『SS科学探究』中学生体験講座を開催しました。

この講座は、9年前から実施しているJSS(ジュニアサイエンスセミナー・小学生科学実験講座)の中学生版として、今年度から新規スタートした科学探究講座で、本校がSSH事業で蓄積してきた成果を公開することによって、地域の科学教育の発展に貢献するための事業です。

参加した中学生諸君は、提示された実験映像から科学的疑問や検証課題を自分自身で見つけて、グループで考えた仮説に基づいて検証を行い、その成果を発表しました。限られた時間内での検証活動では、チーム内でのコミュニケーション力と集中力が要求されます。各班で独自に研究の成果をまとめて発表することで、探究のプロセスを体験することができました。



仮説を検証する参加者



ホワイトボードでの研究発表

第2回『SS科学探究』中学生体験講座を、11月9日(土)に開催します。残念ながら、8月の講座に参加できなかった中学生3年生の皆さんは、次回の講座に参加申込を行ってください。